

平成28年度地方創生関連交付金

事業実施評価

風間浦村

■ 評価凡例

< 事業効果 >

①	地方創生に非常に効果的であった	全てのKPIが目標値を達成するなど、大いに成果が得られたとみなせる場合
②	地方創生に相当程度効果があった	一部のKPIが目標値に達しなかったものの、概ね成果が得られたとみなせる場合
③	地方創生に効果があった	KPI達成状況が芳しくなかったものの、事業開始前よりも取組が前進・改善したとみなせる場合
④	地方創生に対して効果がなかった	KPIの実績値が開始前より悪化した、もしくは取組としても前進・改善したとは言い難いような場合

< 今後の方針 >

①	事業の継続（計画通りに事業を継続する）
②	事業の発展（事業が効果的であったことから取組の追加等更に発展させる）
③	事業の改善（事業の効果が不十分であったことから見直し（改善）を行う（または、行った））
④	事業の中止（継続的な事業実施を予定していたが中止する（または、した））
⑤	事業の終了（当初予定通り事業を終了する（または、した））

平成28年度 地方創生加速化交付金及び推進交付金事業の検証について

No.	交付金対象事業の名称	事業の概要	実施詳細	実績額 (円)	うち 交付金額 (円)	重要業績評価指標 (K P I)			担当課による評価及び今後の方針		有識者からの意見
						評価指標	目標値	実績値	事業効果	今後の方針	
1	ゆかい村学びとふれあい創生事業 (加速化交付金)	ふるさとを愛する心を育てるため、こども・親・高齢者の三世代交流のふれあいによる生きがいの創出、人格形成の基礎が培われる乳幼児期における情操教育、小学校児童においては学校教育の補強等、中学生においては連携を結ぶ大学との交流により人材育成を図るものである。	○ふるさと探訪ほのぼの事業 保育所幼児を対象とした学習教室を展開し、その発表の場を通じてこども、親、高齢者のふれあいの機会を設ける。	3,174,000	3,174,000	高齢者と母子等の交流人口	60人	274人	①地方創生に非常に効果的であった	②事業の発展	交付金等が無くても継続できる地域に根付いた事業になるよう内容の再検討が必要。
			○子ども学習塾事業 小学校の授業終了後にインターネットを活用し、タブレットPCを使って、村外にいる講師の指導のもと学習塾を開講。	7,485,000	7,480,000	学習塾受講者数	100人	298人	①地方創生に非常に効果的であった	①事業の継続	学習環境の格差を埋めるため継続して欲しい。また、本事業が学力向上に繋がっているかの検証も必要。
			○同志社・青森公立大学交流事業 連携協定を結ぶ学校法人同志社(京都府)・青森公立大学(青森市)と文化及び学問を通じた交流を行うことで、子どもの視野を広げ人間性を育み、人材育成を図る。	83,821	83,821	交流イベント参加者数	120人	155人	①地方創生に非常に効果的であった	①事業の継続	今は交流が主な内容となっているが、大学生の若さや知識を村に吸収できるような取組みも行って欲しい。
2	クラウドファンディング「FAAVOしもきた」運営事業 (加速化交付金)	下北5市町村が連携して下北地域のクラウドファンディングのエリアオーナーとなって「FAAVOしもきた」を運営し、下北地域におけるプロジェクトの発掘・支援を行い、新しいアイデアや夢を持っている人たちが資金面で諦めることなく挑戦できるように個人・団体に資金調達の機会を提供する。	○FAAVOしもきた運営協議会負担金 資金調達のためのプロジェクトのリリースを支援	260,000	260,000	成功事例	1件	1件	①地方創生に非常に効果的であった	①事業の継続	クラウドファンディングは資金調達の主流になりつつあるため、地域の活性化に繋げられるよう事業を継続して欲しい。

3	ぐるりんしもきた観光地域づくりプラットフォーム運営事業 (加速化交付金)	下北5市町村と横浜町、民間交通事業者及び観光関連団体で組織する一般社団法人しもきたTABIあしすと(旧下北観光協議会)の会費及び事業負担金を拠出する。平成28年度から本格稼働し、地域観光のワンストップ窓口機能を確立することにより、質の高いサービスときめ細やかな観光案内等の提供が可能となり、むつ下北地域の観光振興に寄与するものである。	<p>○下北観光協議会会費・負担金 (しもきたTABIあしすと)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・下北観光プロモーション事業 ・広域パンフレット作成事業 ・リゾートあすなと誘客宣伝推進事業 ・ポータルサイト運営事業 ・観光案内所運営事業 ・インバウンド事業 	2,881,000	2,422,000	年間観光入込数	53,500人	55,175人	①地方創生に非常に効果的であった	②事業の発展	下北観光の柱となることから今後の活動内容の検討が必要。
4	下北ジオパーク構想による圏域住民総活躍社会に向けた地域再生事業 (加速化交付金)	ジオパーク活動は、自然環境等の地域資源を未来に残しながら、その魅力を教育や観光、経済活動へつなげることで持続可能な地域の発展を目指すものである。下北全域でのジオパーク活動の更なる推進を図るため、出前講座や講演会の実施、情報発信や普及啓発活動を積極的に行う等、地域住民の関心を高めるとともに地域外の方へも下北ジオパークの魅力と意義を伝える活動に取り組むものである。	<p>○下北ジオパーク構想推進協議会負担金</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出前講座、現地視察 ・ジオツアー ・認定記念シンポジウム ・ジオパーク推進員報酬、旅費 	1,000,000	1,000,000	年間観光入込数	53,500人	55,175人	①地方創生に非常に効果的であった	①事業の継続	観光の観点から、協議会としてガイドの育成により一層取組んでもらいたい。
5	下北ジオパークによる観光地域づくり(しもきたDMO)推進事業 (推進交付金)	観光振興策とジオパーク活動を一体的な取り組みとすることで、ジオパークを核とした地域連携DMOの登録を目指し、交流人口、活動人口の拡大を実現することで、地域経済の活性化及び雇用の増加へとつなげ、将来にわたって活力ある持続可能な地域社会の形成に取り組むものである。	<p>○しもきたTABIあしすと負担金</p> <p>DMO設立に向けたマーケティング専門職員の雇用及びマーケティング等調査の実施</p> <p>○下北ジオパーク普及事業</p> <p>ジオパーク関連図書資料の購入、展示</p>	248,000	124,000	年間観光入込数	1,694,111人	1,913,257人	①地方創生に非常に効果的であった	①事業の継続	観光入込客数の増加等を見ても一定の効果はあると思われる。着地型旅行商品に下風呂温泉への宿泊を加えるよう努力して欲しい。
	ジオパーク認知度	60%	66%	①地方創生に非常に効果的であった	①事業の継続						
	着地型旅行商品ツアー実施回数	10回	10回	①地方創生に非常に効果的であった	①事業の継続						